

鸽病防治技术

GEHING FANGZHI JISHU



金盾出版社

鴿病防治技术

杨连楷 编著

金盾出版社

内 容 提 要

本书由广东省家禽科学研究所杨连楷编著。内容包括:鸽病的预防和诊疗技术,鸽的传染病、寄生虫侵袭病、中毒病、营养缺乏症、杂病,鸽的常见病快速鉴别等7章。着重介绍了鸽的常见多发病的防治技术,特别是类症鉴别方法。内容丰富,技术实用,通俗易懂。适合养鸽场、养鸽爱好者、基层兽医技术人员和农业院校有关专业师生阅读。

图书在版编目(CIP)数据

鸽病防治技术/杨连楷编著. —北京:金盾出版社,1995.8
(1997.12 重印)

ISBN 7-5082-0054-3

I. 鸽… I. 杨… III. 鸽-动物疾病-防治 IV.S858.39

金盾出版社出版、总发行

北京太平路5号(地铁万寿路站往南)

邮政编码:100036 电话:68214039 68218137

传真:68214032 电挂:0234

彩色印刷:北京百花彩印有限公司

黑白印刷:北京2207工厂

各地新华书店经销

开本:787×1092 1/32 印张:5.5 彩页:4 字数:120千字

1995年8月第1版 1997年12月第5次印刷

印数:74001—105000册 定价:5.60元

(凡购买金盾出版社的图书,如有缺页、
倒页、脱页者,本社发行部负责调换)

作者通信处:广州市石井镇

广东省家禽科学研究所 邮编:510430



◀颈部皮
下注射

翅内侧静
脉注射▶



心脏采血▶



◀鼻瘤刺种疫苗



市农科院图书馆S019610



◀ 嗉囊按摩

▼ 嗉囊积液



◀ 鸽 1 型副粘病毒病
(头颈歪斜)



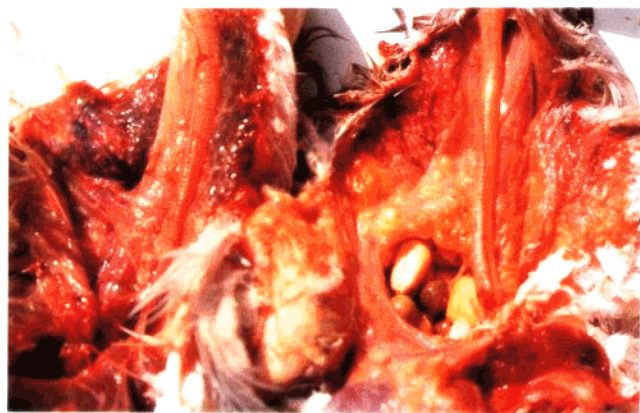
鸽 1 型副粘病毒病
(腿麻痹) ▶





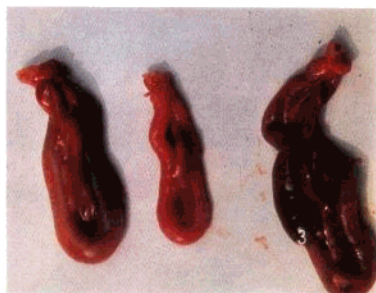
◀ 鸽 1 型副粘病毒病
毒病(肛周羽毛
粪污)

鸽 1 型副粘病毒病
(腺、肌胃斑状出血)▶

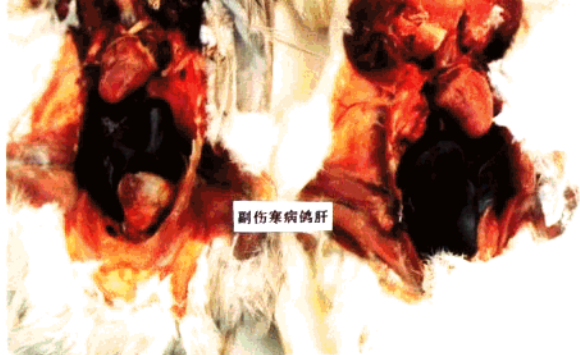


◀ 鸽 1 型副粘病毒病
(颈部皮下淤斑性出血)

鸽 1 型副粘病毒病
(胰腺呈大理石样)▶



鸽副伤寒复合感
染(颈部皮下出
血,肝古铜色)▶



副伤寒病鸽肝



◀ 鸽痘(粘膜型:
口腔病变)



◀ 鸽痘(皮肤型:脚、眼、
鼻瘤病变)

鸽痘(皮肤型:头部器官病变)▶



目 录

第一章 鸽病的预防和诊疗技术	(1)
一、鸽病的预防	(1)
(一)场舍的布局和设施	好清洁卫生..... (2)
要符合防疫要求	(三)严格执行检疫消毒和预防接种制..... (1)
(二)加强饲养管理,搞	度..... (3)
二、鸽病的检查	(4)
(一)检查内容..... (4)	(二)检查方法..... (6)
三、鸽病诊治基本技术操作	(7)
(一)采血..... (7)	(三)给药..... (10)
(二)注射..... (9)	
四、鸽的尸体剖检	(11)
(一)用品准备..... (11)	(二)具体操作..... (11)
第二章 鸽的传染病	(14)
一、病毒性传染病	(14)
(一)鸽1型副粘病毒感染..... (14)	(四)马立克氏病..... (22)
(二)禽流感..... (17)	(五)鸽的疱疹病毒感染..... (24)
(三)鸽痘..... (18)	
二、细菌性传染病	(25)
(一)革兰氏阴性细菌病..... (25)	(三)染色特殊的细菌病..... (50)
(二)革兰氏阳性细菌病..... (42)	(四)真菌性疾病..... (54)

第三章 鸽的寄生虫侵袭病	(60)
一、原虫病	(63)
(一)球虫病	(63)
(二)血变原虫病	(67)
(三)弓形体病	(69)
(四)毛滴虫病	(70)
(五)六鞭原虫病	(74)
二、线虫病	(75)
(一)蛔虫病	(76)
(二)毛细线虫病	(78)
(三)气管比翼线虫病	(80)
(四)胃线虫病	(82)
(五)眼线虫病	(84)
(六)四射鸟圆线虫病	(84)
三、绦虫病	(85)
(一)戴文绦虫病	(86)
(二)赖利绦虫病	(88)
四、吸虫病	(89)
(一)棘口吸虫病	(89)
(二)前殖吸虫病	(91)
(三)凹形隐穴吸虫病	(92)
五、节肢动物引起的疾病	(94)
(一)蜱侵袭病(软蜱病)	(101)
(二)螨侵袭病	(97)
(三)虱侵袭病(羽虱病)	(94)
(四)蝇侵袭病(虱蝇病)	(102)
(五)伤口蛆病	(102)
第四章 鸽的中毒病	(104)
一、畜禽用药物中毒	(107)
(一)喹乙醇中毒	(107)
(二)呋喃类药物中毒	(108)
(三)磺胺类药物中毒	(108)
(四)高锰酸钾中毒	(109)
(五)硫酸铜中毒	(110)
(六)链霉素和双氢链霉素中毒	(111)

(七)结晶紫中毒	···	(111)
二、农用药物中毒	·····	(112)
(一)有机磷中毒	···	(112)
(二)有机氯中毒	···	(114)
(三)有机汞中毒	···	(114)
三、毒鼠药中毒	·····	(116)
敌鼠中毒	·····	(116)
四、有毒气体中毒	·····	(117)
(一)一氧化碳中毒	·····	(117)
(二)二氧化碳中毒	·····	(118)
(三)硫化氢中毒	···	(118)
(四)氨和氯中毒	···	(119)
(五)甲醛中毒	····	(119)
五、细菌毒素中毒	·····	(120)
(一)黄曲霉毒素中毒	·····	(120)
(二)肉毒中毒	····	(121)
六、不良饲料引起的中毒	·····	(122)
(一)霉玉米中毒	···	(122)
(二)蓖麻籽饼中毒	·····	(123)
(三)亚麻籽饼中毒	·····	(125)
(四)棉籽饼中毒	···	(124)
(五)油菜籽饼中毒	·····	(124)
七、其他中毒	·····	(125)
(一)食盐中毒	····	(125)
(二)毒蛇咬伤	····	(126)
第五章 鸽的营养缺乏症	·····	(127)
一、蛋白质与氨基酸缺乏	·····	(127)
二、碳水化合物缺乏	·····	(129)
三、脂肪缺乏	·····	(129)
四、维生素缺乏	·····	(129)

(一)维生素 A 缺乏症	(130)	(八)烟酸缺乏症 ...	(136)
(二)维生素 D 缺乏症	(131)	(九)维生素 B ₆ 缺乏症	(136)
(三)维生素 E 缺乏症	(132)	(十)生物素缺乏症	(137)
(四)维生素 K 缺乏症	(133)	(十一)叶酸缺乏症	(138)
(五)维生素 B ₁ 缺乏症	(133)	(十二)维生素 B ₁₂ 缺乏症	(139)
(六)维生素 B ₂ 缺乏症	(134)	(十三)胆碱缺乏症	(139)
(七)泛酸缺乏症 ...	(135)	(十四)维生素 C 缺乏症	(140)
五、无机盐缺乏	(141)		
(一)钙磷缺乏症 ...	(141)	(五)铁铜缺乏症 ...	(142)
(二)钾氯钠缺乏症	(141)	(六)锌缺乏症	(143)
(三)镁缺乏症	(142)	(七)碘缺乏症	(143)
(四)锰缺乏症	(142)	(八)硒缺乏症	(143)
六、水缺乏	(143)		
第六章 鸽的杂病	(144)		
一、创伤	(144)		
二、啄癖	(145)		
三、肿瘤病	(146)		
四、食道病	(146)		
五、嗉囊病	(148)		
六、水样腹泻	(149)		

七、眼炎	(149)
八、痛风	(150)
九、皮下气肿	(151)
十、热射病	(151)
十一、日射病	(152)
第七章 鸽的常见病快速鉴别	(152)
一、病状类似型组——以病状鉴别为主	(152)
(一)震颤病组	(152)
(二)头颈歪扭病组	(157)
.....	(153)
(三)头颈软瘫病组	(157)
.....	(154)
(四)眼内有干酪样分泌物病组 ...	(154)
(五)黄疸病组	(155)
(六)角弓反张病组	(155)
(七)嗦囊胀大病组	(159)
.....	(155)
(八)血性粪便病组	(156)
.....	(156)
(九)白色稀粪病组	(152)
(十)绿色稀粪病组	(153)
(十一)水样下痢病组	(154)
(十二)关节炎病组	(158)
(十三)长骨短粗及跗关节肿大病组	(155)
(十四)弯爪病组 ...	(159)
(十五)羽毛生长不良病组	(160)
二、病变类似型组——以病变鉴别为主	(160)
(一)口内有伪膜等病组	(160)
(二)胃出血病组 ...	(161)
(三)胸腹腔有血性积液病组	(162)
(四)体内有特臭病组	(162)
(五)脑出血病组 ...	(163)
(六)皮下、肌肉出血病组	(164)

(七)肌肉、器官呈煮	水肿、变软病
熟样病组 (164)	组 (166)
(八)结节病组 (165)	(十二)胚胎畸型病组
(九)纤维素性脏器	 (167)
炎病组 (165)	(十三)某些维生素缺
(十)古铜色肝病组	乏引起的死胚
..... (166)	组 (167)
(十一)脑充血、出血、	

第一章 鸽病的预防和诊疗技术

一、鸽病的预防

鸽病的种类很多,包括传染病、寄生虫侵袭病、中毒病、营养不良症和其他内外科杂病等。在养殖过程中,鸽群常会发生各种疾病,特别是有一定规模的工厂化、集约化养鸽场,由于饲养密集,一旦发生疾病,尤其是传染病,往往会大批死亡,造成很大的经济损失。有些鸽病,不但危害鸽群,而且也危害人员身体健康。因此,必须坚持预防为主方针,贯彻国务院颁发的《家畜家禽防疫条例》,把防病工作做在前头,防患于未然。主要应抓好下列几项工作:

(一)场舍的布局 and 设施要符合防疫要求

选择场地既要有利于生产,又要有利于防疫。场舍不要过于靠近居民点或市区,避开交通要冲和主干道,以减少干扰和应激反应。背北向南,地势高燥,阳光充足,通风良好,交通方便,水电供应正常,便于排污。

场区布局上,生产区(包括种鸽间、商品鸽间、孵化间、育雏间、育肥间、药物和饲料混合间、药房、兽医检验室、死鸽解剖处理间等)应与非生产区严格隔开,不宜直通,并要有防疫消毒设施,通常包括以下内容:

第一,设置大小通道口消毒池。要求场内所有通道口、场的大门口、生产区的大门口、各栏舍门口均应有消毒池,以便对进出车辆的车轮和人员的鞋靴进行消毒。消毒池深约10厘

米,其大小视通行车辆情况而定。如需通行卡车,消毒池应宽2.5米,长3.5米,以便对车轮全周长进行消毒。车辆消毒池旁可另设行人消毒池,供人员进出使用。

第二,设置栏舍用具消毒池。一般设在各栏舍门口外旁边,各栏舍均逐一配齐。此池专门用于该幢栏舍的隔粪板、饲料杯、饮水杯的定期消毒。

第三,较大的鸽场应设置消毒间或消毒走廊,供进出生产区的人员全身消毒用。在此消毒设施内,既有地面消毒池,又有空间的紫外线或电子灭菌消毒器,还要配备浴室及供替换用的衣物鞋帽。

(二)加强饲养管理,搞好清洁卫生

这是提高鸽的身体素质,增强其对疾病抵抗力的重要环节,主要要求有:

1. **供给全价、卫生的饲料** 要用质量好的原料生产饲料,饲料营养要全面,配方要合理。饲料要新鲜,不能有霉变。饲喂要定时、定质、定量。

2. **保证充足而清洁的饮水** 供水要定时,水质要清洁、卫生。一般应整天不断水,让鸽自由饮用,炎热季节,更不能断水。

3. **定期清理鸽粪,保持环境卫生** 一般每5~7天应清理1次鸽粪,每两周进行1次全场性的清洁消毒工作。隔粪板要勤洗换,水杯、料杯每天洗涤1次。

4. **保持鸽群安静,减少外来应激** 栏舍内要有适宜的干湿度和光亮度,通风良好,防止过热过冷和贼风、雨水的侵袭。在栏舍中操作时禁止发出巨响或大声喧哗,吵吵闹闹,以免引起鸽群应激反应而诱发疾病。

5. **注意观察鸽群动态** 每天都要留意鸽群的采食、饮水和活动状态是否正常,如有异常应及时处理,同时要做好每个环节的记录,以备查阅。

(三)严格执行检疫消毒和预防接种制度

1. **引进的新鸽必须认真检疫** 凡引进的新鸽,必须来源于防疫可靠的鸽场。新鸽进场后先要隔离饲养2~4周,经观察检疫确认无异常情况后,经过消毒方可迁入生产区。凡已售出的鸽,一律不得退换。

2. **加强场舍和饲养人员的防疫管理** 生产区内禁止外人来往或参观。场内人员进入生产区前要先经消毒室或消毒走廊更衣消毒。各栏舍人员要相对固定在各自负责的栏舍内,不得互相串舍,舍内工具应固定使用。场内饲养人员不得在场外从事家禽尤其是鸽的养殖活动,以防传染疫病。非兽医人员未经许可或在无兽医技术人员指导的情况下,不得自行解剖病死鸽。

3. **坚持清洁消毒制度** 凡进场的人员、车辆和装载用具等均应严格消毒。平时应定期对栏舍、笼箱、饲养用具进行清洁、消毒,清除场舍附近的垃圾、杂草、污水,定期灭鼠、杀虫,消灭疫病传染媒介。死鸽应集中作无害化处理,防止乱扔或被猫、狗叼食。栏舍消毒可用10%~20%生石灰水,或5%~10%漂白粉溶液(现配现用);用具、器械消毒可用1%新洁尔灭、1%消毒净或0.5%度米芬水溶液。

4. **根据具体情况进行预防接种** 在一般情况下,对细菌性疾病的防制是接种菌苗或投服抗菌药;对病毒性疾病的防制是接种疫苗或抗体。疫苗多用于平时的预防接种,在特殊情况下,也可用作疫情期的紧急接种,此种情况也可使用抗

体。如对鸽1型副粘病毒病,平时和疫情期既可接种疫苗,也可接种抗体。有些细菌性疾病如绿脓杆菌病、葡萄球菌病、亚利桑那菌病等,没有理想的菌苗可使用,不论预防或治疗通常采用抗菌药,其中以庆大霉素为首选药物。

5. 发现传染病后应采取果断扑灭措施 一旦发现疫情,对病鸽应立即隔离治疗。一时不能确诊的,应将死鸽或采取其病料送兽医检验室检查,尽快确诊并找出发病原因,以便采取针对性的防治措施。

发病的栏舍应严格封锁、隔离和消毒。病情严重及无治疗、饲养价值的病鸽,应及早淘汰处理。如要利用,必须在兽医人员指导下进行无害化处理。病死鸽及污物、污水应深埋并彻底消毒。

发生传染病的鸽场应停止进鸽和出售、外调,直到病鸽全部治愈或处理完毕,通过该病最长潜伏时间的观察无新发病,并经彻底消毒后方能解除封锁,恢复正常运转。

二、鸽病的检查

(一)检查内容

1. 神经系统的检查 动物有机体的生命活动和各种表现都是受神经系统尤其是中枢神经所支配的,故对其应进行细致的检查,观察其有无异常表现。如活动情况,对外来刺激的反应情况,兴奋或沉郁,有无惊恐、嗜睡、共济失调、运动障碍,有无肢体或身体其他部分麻痹、抽搐或痉挛,有无特殊姿势或动作,有无瞳孔扩大或缩小等症状。

2. 呼吸系统的检查 检查病鸽鼻液,有鼻液的其性状如何;有无呼吸罗音,有罗音的属湿性还是干性;是否有张口